

諏訪勝氏撮影のビデオに関する報告書

2012年6月15日

東京高等裁判所第17民事部 御中

控訴人ら代理人

弁護士 浅野 史 生

下記のとおり、ジャーナリスト諏訪勝氏（甲 B12 の著者）が 1991 年 7 月にコトパンジャン地域を訪問し、撮影したビデオについて報告する（本ビデオ自体は甲 C68-2 にて提出する。）。なお、控訴人カリム氏が当時の撮影に立ち会っており、同人は、2012 年 5 月、本ビデオを見て、その内容を確認した。写真右側のコメント欄は、同人の説明に基づくものである。

記

(1) 0分18秒



旧コトトゥオ村。
村の人たちが集まって民族音楽の演奏をしている。
結婚式の前祝いの演奏である。
コトパンジャン地域では、こうした文化が息づいていた。

(2) 1分7秒



同上 遠景

(3) 1分40秒



旧コトトゥオ村の人々

(4) 1分57秒



ラシさんの家

(5) 2分9秒



旧コトトゥオ村 ツビルさんの家
この家の息子は、国家公務員になって
いる。

(6) 2分40秒



カンパール川

船で川の向かい側のマーケットに品物を運ぶ。対岸には、モスクが見える。

(7) 3分17秒



旧コトウオ村のムショラ（お祈りをする場所）。ダムにより水没。

(8) 3分58秒



イスラム小学校

(9) 4分31秒



ルマガダン (ミナンカバウの伝統的な家)
アディスクールさんの家

(10) 5分4秒



モスク
この庭で、バレーボールをした。
モスクの左側は、墓地となっている。

(11) 5分45秒



近くのゴム園。
ゴムの木から、樹液の収穫 (白い液体が皿に入っている)

(12) 5分53秒



同 ゴムの木

(13) 6分00秒



同 ゴムの木
10m位あった。

(14) 6分11秒



結婚式の準備に集まった人たち。
来ている子どもたちのほとんどは、
今は結婚して子供がいる。

(15) 6分19秒



結婚する家の中を案内するイエルマさん

(16) 6分30秒



新婚夫婦の寝室。華やかな装飾がなされている。

(17) 7分17秒



ムアラタクス寺院。水没は免れた。

(18) 7分40秒



新プロウガダン村に入る橋

(この橋は、現在2012年5月そのままある)

(19) 8分13秒



移住する新村の工事現場

一面の豊かな森が、切り払われてしまった。工事の音が鳴り響く。

道路の右側、プロウガダン村

左側 コトマスジツ村

(20) 8分42秒



コトマスジツ村の新村。焼き払われた煙が出ている。このあたりは、今は養魚池になっている。

(21) 10分4秒



プロウガダン村。

(22) 10分39秒



建設中の新村の家。住民たちに山羊小屋と言われたもの。

以上